

■アンケート結果について

項目	内容	対応状況
①三叉路、鳴門山トンネル		
通行方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>通行ルールが分かりづらく、看板等による周知が必要</u>（関係者以外進入禁止、一方通行） ・看板については、分かりやすいサイズや色にしてほしい。 ・自転車及び徒歩通行を可能として整備する方針としてはどうか。 ・自転車レーンの整備は難しいのか。 ・第一駐車場から鳴門山に行く導線をスムーズにできれば。一旦降りて横断歩道を横切るのは複雑 ・横断歩道やブルーライン、ルートを示した大きな看板があるとよい。 ・自転車には道路面に矢羽根で、車は分岐手前に文字表示することで安全性確保できないか。 ・鳴門山トンネルは傾斜もあるので、自転車や人がうまく流れてくれるようなデザインを期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通行方法や路面標示、案内看板について、実施中の警察との協議を踏まえ、内容を検討 ・トンネル内の魅力アップについては、関係法令を遵守の上、イベント時での実施を含め、試行的な実施を検討
鳴門山トンネルの魅力アップ	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>鳴門山トンネルが単調なので、何らかの工夫が必要</u>（プロジェクトマッピング、ストリートピアノ、写真スポットの設置、あるいは良い匂いをさせる（例：ディズニーシーのソアリンのように”鳴門”らしい匂い）、イルミネーションなど） 	
鳴門山トンネル内の設備について	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネルが暗い（夜間照明の設置、街灯が少ない、照明のLED化） ・トンネル内の手すりの腐食 	
②千畳敷		
サイクルラックについて	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の位置が不便、利用している人を見ない。サイクリストは橋側の手すりに自転車を置き、写真撮影やもたれ掛けさせたままベンチで休息している。 ・近くにここに置けるという分かりやすい看板が必要では。 ・設置位置を展望台側に移してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（一財）自然公園財团において、砂利部分の舗装を検討するほか、広場の舗装に関し、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、内容を検討
展望台下の利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルラック（アースロックできるもの）を設置し、利用者に明示することでサイクリストの滞留を促せるのでは。 ・駐輪場やレンタサイクル保管場所等として有効活用できるように整備したらいいのでは。 ・写真が撮れるようにする照明やスマホスタンドがあれば。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルラックの設置や展望台下の活用（自転車駐輪場の整備等）、魅力アップに向けた取組（モニュメントやフォトスポットの設置等）の実施に関しては、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、内容を検討
石畳、砂利の箇所について	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>土、砂利敷きの範囲内に遊歩道を設置して横断できれば導線を増やせるのでは。</u> ・<u>段差をなくし、歩きやすい道や広場となるよう変更してほしい。</u> ・自転車にとってあまり良いものではないと理解しているが、国立公園や文化財であり続けたこれまでの経緯を踏まえ、<u>樹木や木陰などをうまく利用することも検討していただきたい</u>。世界的な視点で見ても、古く歴史ある都市や場所は石畳をアスファルトに変えたりはしていない。ただ、自転車に乗ってくる方が増えるのは確かであるため、導線をうまく考えていくなら素敵なものになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルラックの設置や展望台下の活用（自転車駐輪場の整備等）、魅力アップに向けた取組（モニュメントやフォトスポットの設置等）の実施に関しては、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、内容を検討
周辺環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車でも渦の道からアプローチしやすいように整備してはどうか。 	
魅力の向上について	<ul style="list-style-type: none"> ・夜のイベント（ライト・ミドル層）、キャンプ場等簡単に宿泊できる施設の設置（ベテラン層）へのアプローチ ・展望台地下の存在感がないので、順路を設けたり工夫が必要 ・海や橋を望む景観を活かし、滞在や周遊を促す空間づくりの整備（オープンテラス席の設置など） ・<u>映えスポットとしての環境整備</u>（橋の写真を撮る際に日付や走行距離と一緒に撮れる看板、公式ハッシュタグの案内板やフォトスポットへの掲示、投稿と連携した割引などの特典、スマホスタンドの設置、「NARUTO」モニュメントの設置） 	

項目	内容	対応状況
③渦の道、アプローチ橋		
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用入り口やアプローチ橋の新設は事故等の防止に非常に有効、看板等による案内をしっかり行えば大きな混乱はないのでは。 ・渦の道を渡り終えてから進行方向に何があるか、押し歩きが必要なエリアなどの明示があると安全 ・急な坂があるところには「スピードを落とす」などの看板があるとよい。 ・繁忙期は警備員や案内スタッフが必要になりそう。 ・自転車と歩行者の導線を視覚的に分けないと危険 ・滞留するスペースを分散させるなど、混雑を回避する工夫が必要 ・渦の道入口部分が暗く、もう少し入口部分が明るくなっているとよし。 ・自転車用シューズでも安全に歩きやすいよう、導線上に歩行用マットを敷設してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策に関するハード整備に関し、実施中の警察との協議を踏まえ、内容を検討 ・看板の設置について、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、仕様や設置場所など内容を検討 ・その他、利便性向上・魅力向上については、実施に向けた検討を行う。
利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路側から来た方に自転車を押して千畳敷に行く工夫が必要、道路と歩道間の植栽を撤去して自転車置き場にできれば解決できそう。 ・手荷物用コインロッカーの増設 ・押し歩きの方向に歩行（靴）を補助するものがあれば事前に準備してはどうか。 	
魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定されていた新幹線を通す計画を誰もが分かるような仕掛けがあれば、鳴門側でしか見られない景色（大きく開口部が見える）にも魅力が増すのでは。 ・淡路側から来た方に「徳島へようこそ」などの飾り 	
④お茶園展望台		
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・石畳破損箇所の補修が必要 ・ユニバーサルデザインの観点から階段段差をなくすことが必要だが、経費はかなりかかりそう。 ・石畳のため、自転車利用者も押し歩くことを想定し、通路の相互通行の整理が必要 ・展望台到着までの階段がネックとなるので、手すりの整備や歩行補助の改善が必要 ・自転車や車いすの人が利用できるようにするスロープ ・段差をなくすため、アクセス道を改修するか、片側にスロープを付けるなど改修が必要 ・サイクルラックの設置 ・奥へ行くほど足下が悪く整備が大変と思うが、展望施設の1階部分に駐輪場を設置してはどうか。 ・千畳敷に比べると分かりにくい位置にあるため、誘導が必要 ・ユニバーサルデザインを意識した改修は必要だと思うが、そこで守られてきた風情や環境に配慮したアレンジを行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通路の舗装や段差の対策等について、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、内容を検討 ・サイクルラックの設置や自転車駐輪場の整備、魅力アップに関する看板の設置等について、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、内容を検討 ・イベントの実施に関しては、関係機関と連携し、実施を検討
魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートや星型の石（4か所）探しを看板等で広報してほしい（恋愛スポットにするためのベンチや鐘）。 ・双眼鏡が少し古く、あまり使われていない印象 ・眉山の鍵のように、ここに来た印を残したり何かしらのジンクスを設定しておいたりすると楽しめるのでは。 ・橋と景色を眺めながら休憩できる点は魅力的 ・映えスポット化（スマホスタンドの設置、モニュメント） ・小規模の新茶の季節に合わせたイベント（茶摘み体験、ワークショップ）や、ハロウィン・クリスマス・夏祭りなど季節限定装飾でイルミネーションやライトアップなど何度も訪れたくなる動機を作る。 ・お茶園歩道橋で大鳴門橋をバックに自転車と一緒に写真を撮ることができるよう、自転車と共に登ってこれるような整備をしてほしい。 ・テーブルや椅子の数を増やして滞在できる場所とする。 ・渦潮と鬼滅の刃（水の呼吸）とのコラボできないか。 	
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まりすぎると、通路が狭く、崖があり危険なので安全対策が必要 	

項目	内容	対応状況
⑤エディ（1F）		
サイクルステーション	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり手狭を感じた、不要な部屋があるのであれば、オープン後でもよいができる限り広げていくべき。 ・自転車利用者も利用するには駐輪スペースが少ない。 ・渦の道を出た自転車（レンタサイクル）を停められる駐輪場は必要 ・インフォメーションや観光入込客を考慮するとかなり狭く、窓側通路に23台自転車を置けるが、通路がかなり狭くなり、通行が難しそう。会議室等を保管場所として開放するなど工夫が必要 ・少し入りづらい感じがあり、無料・有料ゾーンの明示があるとよい。 ・公園内及び周辺エリアの周遊ルートや、交通手段の案内機能を強化する。 ・公園内の導線のデザインがまだ決まっておらず、決まった後に改めて運用について検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エディ改修の基本方針に反映するとともに、レンタサイクルに関するサウンディング調査（南あわじ市、鳴門市）の結果も踏まえ、改修基本計画の策定を進める。 <p>※詳細については別紙</p>
自転車関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1階入口右側も整備すれば駐輪場として使用可能 ・屋上は入館者だけでなく、オープンスペースとして外階段で上がれたらいいのでは。 	
魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・eバイクを充電できる場所があると便利 ・大型荷物対応の手荷物預かり所や、宿泊施設への配達サービス拠点を整備する。 	
⑥エディ（2, 3F）		
展示内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・VRやうしお体験ゾーンは魅力的に感じた、屋上での阿波踊りイベントなども積極的に広報すべき。 ・シアターでは、実際にこれからどのようなルートを走るのか鳥瞰的な視点で映すことでイメージが膨らむのではないか。 ・観光資源の映像は地図上でどの辺りかを示すものがあるとイメージが膨らむのでは。 ・せっかく来ても渦が見られなかった人向けに渦の映像や渦を内部から見たときの映像があれば面白いのでは。 ・鯉のえさやりはポイント制にするなどしてゲーム性を持たせると小さい子も楽しめるのでは。 ・映像の場所にエディから向かうおすすめルートを示すものがあれば、自分が観光客であれば嬉しい。 ・渦潮が発生していない時間帯や悪天候時でも楽しめるよう、海中の様子や渦の迫力を体験できるコンテンツを充実させる。 ・見るだけでなく、体験が増えれば子ども連れの方も利用しやすく、印象深い思い出になる。レトロ売りするのも一つの手段 ・「うず丸」は撤去し、サイクルステーションとしての活用方法を決定した上で、残すもの・撤去するもの、展示方法を決めていく。 ・当時は徳島の魅力満載で開業されたと思うが、詰めすぎ感があり、コンセプトがかなり曖昧になっている、シアター以外はゼロベースで見直し、「海峡の魅力」「自然」と「自転車での徳島の過ごし方」などに絞ってはどうか。世界の橋や故障中のものは外しても良い。 ・展示物のテーマが徳島県内のものと鳴門のものが混在していたり、学習的な内容が多いため、利用者を増やすにはターゲットを考える必要がある。サイクリスト、自転車利用者と結び付けるには特典が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・エディ改修の基本方針に反映するとともに、レンタサイクルに関するサウンディング調査（南あわじ市、鳴門市）の結果も踏まえ、改修基本計画の策定を進める。 <p>※詳細については別紙</p>
新たな活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地の観光情報を集約し、ここを拠点とした情報発信を強化する。 ・自転車で行けるエリアを中心に、大鳴門橋の車両通行台数とGoogleの「徳島 ラーメン」検索数に相関関係がある「徳島ラーメン」の情報を発信する。 ・快適に過ごせる場所、県内の案内や周遊ルートの紹介（場所限定や個数制限という手法もうまく使って、鳴門公園や鳴門市内又は徳島市内までサイクリングしてくる魅力を創造することが重要） ・多くの椅子があるので、食品を持ち込んで休憩できるようにしてはどうか。 	
受入環境・魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上では、他の施設が見えるのでどの位置に何があるかの看板を作ってはどうか。 ・屋上から次の場所へ移動する際の看板裏に正面の橋とセットで撮影できるものがあっても良いのでは。 ・DXをもっと活用し、観光客のスマホを利用して多言語で案内文を表示させる方式をとってはどうか（入口はハングルがあるが、館内表示は無いなどバランスを欠いている）。 ・写真撮影スポットが1か所あったが、その整備が行き届いていないと感じた（上部に空気が入ってしまっているなど）。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・内容的には子どもや30~40代以上が好む感じと思われる所以、そこに特化した広報手段を用いるべき。 ・10~20代は、渦の道は行ってもエディの数百円の入場料はためらうのでは。 ・今後、この施設をどのように位置づけるか（文化・教育施設or徳島の入口としての観光案内所など）を明確にすることで展示内容やスペースの活用方法が定まる ・エディを建てた理由を知っているかどうかにより、見方は変わってくるため、存在意義と目的の変更を簡単に決めてよいか少し不安。今後どのような展開を考えているのか、変えていける可能性をアイデアベースで良いので先に示してほしい。 	

項目	内容	対応状況
⑦その他		
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが複数箇所あるのはサイクリストにとってもありがたいが、照明の追加など、もう少し入りやすい雰囲気作りが必要 ・クレジットカード可の注文用の機械などが設置されていると、外国人観光客も利用しやすい。 ・歩行者との接触事故も想定されるため、自転車置き場を多く設置することがやはり必要 ・電動自転車等の利用を見据え、充電ステーションの整備を行う。 ・災害発生時の避難誘導サインの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面の対策については、今後、環境省、文化庁との協議を速やかに実施し、内容を検討 ・ソフト面の対策については、関係機関と連携し、実施に向けた検討を進める。
魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・カップリングルメ、うずしお汽船、88か所巡り、大谷焼など、この場所を玄関口とする鳴門観光の魅力はかなりあるが、広報が弱いと感じるので、旅行会社など、有識者の意見を取り入れるとよい。 ・ここにしかないコンテンツを作る（例えば渦潮とアニメのコラボとして鬼滅の刃で水の呼吸と渦潮など） ・千畳敷から降りた海岸の整備（四国のみちの活用） ・自転車の方に限らず全ての人が楽しむためには、どこをどう通れば一番渦潮周辺を満喫できるか、経路を示すことが観光面では有効的ではないか。特に今後はサイクリスト、観光客の方のルートとを分けていく必要があると感じた。 ・天橋立て提供されるレンタサイクルは、行きは自転車で、帰りは船で戻るコースをとり、稼働率が非常に高い。<u>鳴門⇒淡路間のレンタサイクルも、観潮船の相互乗り入れを実現することで、行きは自転車、帰りは船というコースを検討してはどうか、全国のサイクリングルートでも、船に自転車を載せて移動する行程があるものはないため、サイクリストから「一度は走っておきたいコース」として認知されることが期待できる</u>のでは。 ・鳴門に来るべき"ココダケ"食べ物、"見るべき"コンテンツが重要なので、<u>鳴門の道の駅とのコラボ企画を早急に検討するべき</u>（マスコットやシンボルとなる拠点づくり、鳴門公園との周遊ルート、マスコットキャラクター（淡路はtimelesz松島聰がデザイン）） ・アワイチ、セトイチの接続ルートであるのでニックネームを一般募集する。 	
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・EDDYの整備、利活用、鳴門公園の利活用とサイクル事業を結び付けるためには、魅せたいものが点在しているため、利用者側に使い方やコースを委ねてしまうより、ターゲット層ごとのモデルプランを作成して、分かりやすく周知することが必要 	
留意する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ガチ勢はビンディングシューズを履いているのでほとんど歩けない。 ・食事処やピューポイント、利用施設もターゲット層によって分けられる。 ・議論の方向性や最終的な目的、タイムスケジュールなどを示していただき、委員の皆で共有したい。 ・看板の設置箇所については、話が出尽くした感があるので、環境省との協議を早急に始めて、相談しながら2年後に完成することを目指して欲しい。 ・課題が沢山あるので時間がかかる事から始め、2年後に完成した時には気分良く自転車で徳島に来られることを目指してほしい。 	